



SETTING EXAMPLE 小林克己

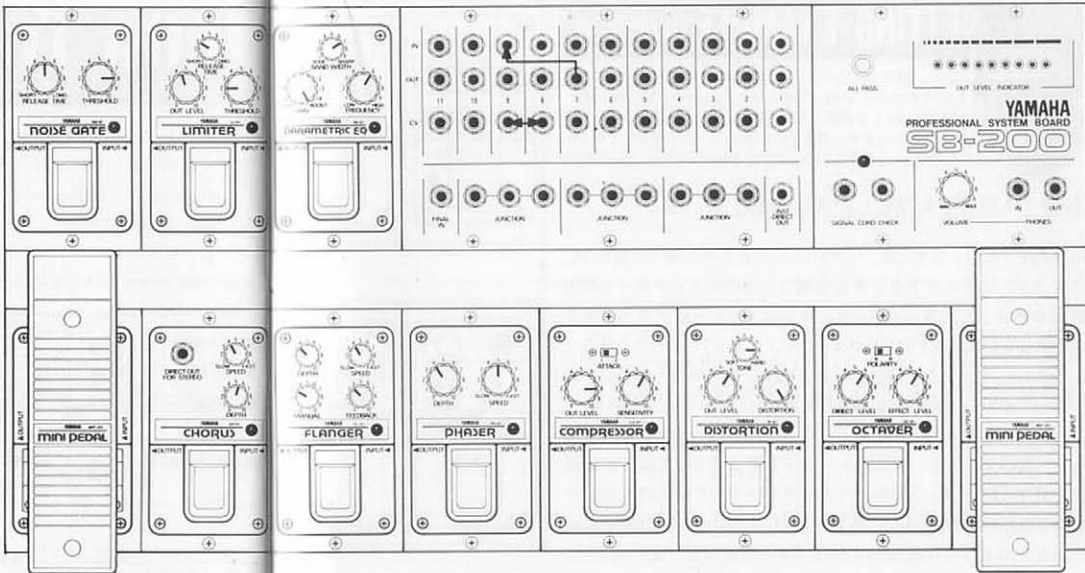
70年、近田春夫&ハルチフンのギタリストとしてデビュー。現在は小林克己バンドで活動。また、ロックギター教室のインストラクターとしても有名で、独自のカリキュラムを考案し、教則本なども執筆。教室数は、東京、名古屋等20会場以上にも及びます。さらに、作曲、編曲、レコードプロデュースに幅広く活躍中。

ミニペダルを目的別に2台配し、演奏性を一段と向上。

小林克己さんのシステムボードは、マウントポジションと接続順序がマッチしたわかりやすいレイアウトとなっています。彼のセッティングで特に目がつくのは、ミニペダルを2台使用していること。右端はボリュームペダル、左端はパラメトリックEQ用のポルテージコントロールペダルとなっています。ボリュームペダルは踏みやすさを考え、接続順では1番のオクターブアパーと配置交換。内部で1番と2番のジャンクションコネクターを交差させてつなぎ、パッチングの手間を省いています。トレモロ系のエフェクターはまとめて配置。必要性の高いコーラスを3つのうち最後に接続しています。というのは、例えば、フランジャーとコーラスを同時に使用した場合も、コーラス的なサウンドを強く出すためです。

■エフェクトの組み合わせパターン

- ①ミニペダル→コーラス→リミッター→ノイズゲート ←歪みのなくさわやかなパッキング用
- ②ミニペダル→コンプレッサー→フランジャー→パラメトリックEQ(←ミニペダル)→リミッター→ノイズゲート ←アタッキーで伸びのあるリード用
- ③ミニペダル→ディストーション→フェイザー→リミッター→ノイズゲート ←歪みのあるハードなリード用



■接続順

1. オクターブアパー
2. ミニペダル
3. ディストーション
4. コンプレッサー
5. フェイザー
6. フランジャー
7. コーラス
8. パラメトリックEQ
↑ CV(ミニペダル)
9. リミッター
10. ノイズゲート

■パッチング

- 7 OUT→9 IN
- 8 CV→9 CV



SETTING EXAMPLE 森園勝敏

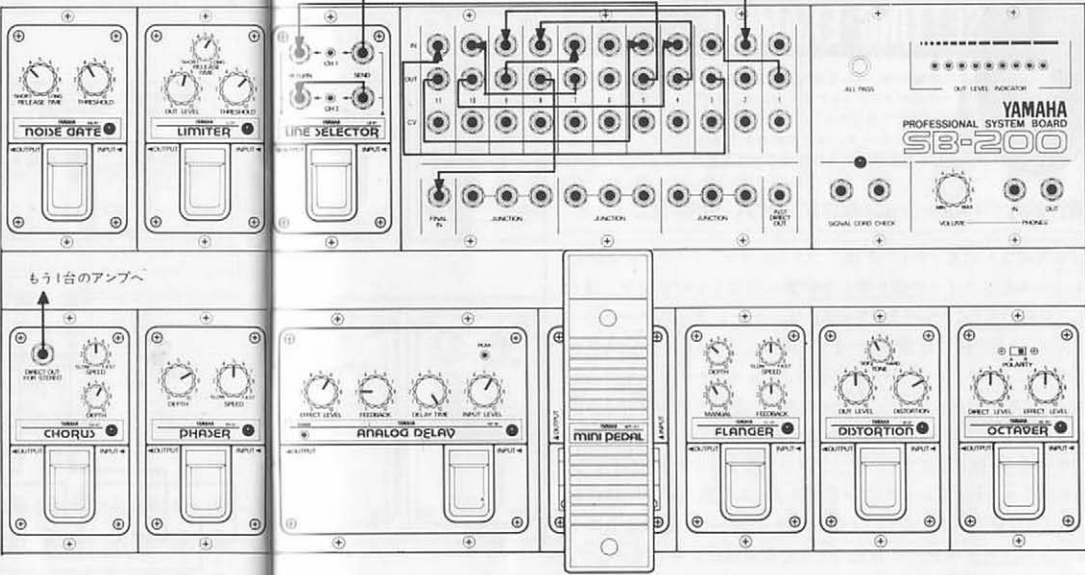
74年、四人囃子のギタリスト兼ボーカリストとしてデビュー。以後、山内テツ&グッド・タイムス・ロール・バンド、ブリズムに参加。現在は、自己のバンド、森園勝敏&ハーズ・アイ・ビューを率いてライブ活動するとともに、ソウルバムの制作をはじめ、スタジオワーク、セッション、レコードプロデュースと幅広く活躍中。

リミッターを接続し、スタジオユースにシステムアップ。

森園勝敏さんの場合は、エフェクターの接続順とマウント位置をそれぞれ別々に考えたセッティングであるため、パッチングがかなり複雑になっています。ミニペダルが中央寄りにセットされているのは、ボーカルをとりながらギターを弾くためです。接続順にして後ろから3番目にリミッターを配し、過大信号による不必要な歪みを防止。レコーディングにも使えるシステムです。また、ディストーション、フランジャーによってノイズが強調されやすいところから、これらの直後にノイズゲートも接続してあります。コーラスの前のアナログディレイはロングディレイにセット。コーラスはステレオ出力し、ダイレクトアウト側には、さらに、ショートディレイにセットしたアナログディレイを接続して使用します。

■エフェクトの組み合わせパターン

- ①オクターブアパー(ラインセレクター)→ディストーション→フランジャー→ノイズゲート→アナログディレイ(ラインセレクター)→フェイザー→リミッター→ミニペダル→コーラス ←リード用
- ②オクターブアパー→ラインセレクター→フェイザー→リミッター→ミニペダル→コーラス ←サイド用



■接続順

1. オクターブアパー
2. (ラインセレクター)
3. ディストーション
4. フランジャー
5. ノイズゲート
6. アナログディレイ
7. (ラインセレクター)
8. フェイザー
9. リミッター
10. ミニペダル
11. コーラス

■パッチング

- 1 OUT→9 IN
- 9 OUT→7 IN
- 7 OUT→10 IN
- 10 OUT→4 IN
- 4 OUT→8 IN
- 8 OUT→FINAL IN
- LS-01 CH-1 SEND→2 IN
- 3 OUT→11 IN
- 11 OUT→5 IN
- 5 OUT→LS-01 CH-1 RETURN
- LS-01 CH-2 SEND→LS-01 CH-2 RETURN